



平成 28 年 2 月 10 日

各 位

会社名

**TOMOE GAWA**登記社名：株式会社巴川製紙所  
コード番号 3878(URL <http://www.tomoegawa.co.jp>)

代表者名 代表取締役社長 井上 善雄

問合せ先 取締役常務執行役員

CFO 経営戦略本部長 山口 正明

( T E L 0 5 4 - 2 5 6 - 4 3 1 9 )

## 平成 28 年 3 月期 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 27 年 5 月 15 日に公表した平成 28 年 3 月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

## 記

## 1. 平成 28 年 3 月期連結業績予想数値の修正 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 35,000	百万円 700	百万円 700	百万円 300	円 銭 5.88
今回修正予想 (B)	34,000	300	100	△200	△3.92
増減額 (B - A)	△1,000	△400	△600	△500	—
増減率 (%)	△2.9	△57.1	△85.7	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 3 月期)	34,114	185	476	48	0.96

## 2. 修正の理由

通期業績予想につきましては、トナー関連事業での受託案件の伸長、中国事業の調整解消と、機能紙関連事業でも新製品増加により、第 4 四半期 (1-3 月) では再び黒字に回復することを見込んでいたものの、第 3 四半期 (10-12 月) における大幅な悪化を相殺するに留まる見込みです。また、業界全体が調整局面に入ったこともあり、ディスプレイ関連事業の収益は、持分法投資損益も含めて、前期より大幅に減少する見込です。

これらの点を踏まえて、年初想定の上高 350 億円を 340 億円に、営業利益および経常利益 7 億円を夫々 3 億円と 1 億円に下方修正し、これに既に計上済みの特別損失などを加えたところで、親会社株主に帰属する当期純利益についても△2 億円の損失と見通しを修正することといたしました。なお、個別業績予想および期末配当につきましては変更ありません。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上